

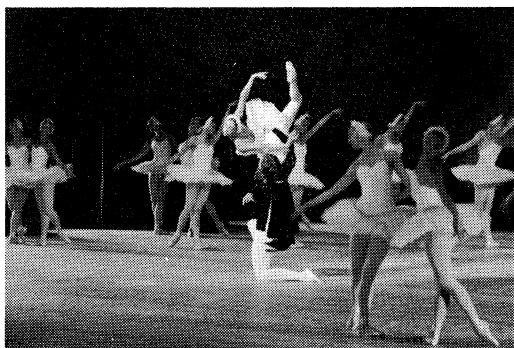
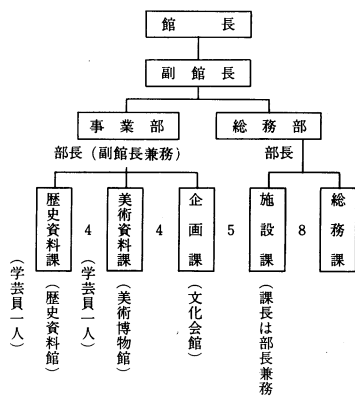
(五十二年一月)  
 (民俗芸能)―南郷村―村芸能祭(十一月)

文化のふるさと指定は五十一年度まで  
 のべ十二市町村、現在七市町村が指  
 定されているが、活動の面においては、  
 指定市町村、部門の活動等の影響により  
 指定された市町村、部門のみでなく、近隣  
 市町村、他の部門においても活発な活動  
 がみられ、特に文化団体数の伸びには  
 最近いちじるしいものがあり、いろいろ  
 な面において副次的効果も見られる。

### 福島県文化センターの運営

現在県文化センターの管理運営は、  
 県直営方式をとらず「財団法人福島県  
 文化センター」に管理委託をしている  
 が、施設管理のほかに財団独自で自主  
 事業を計画している。

### ○財団法人福島県文化センター組織図



レニングラードバレエ団福島市公演

### ○福島県文化センター自主事業

表4 文化センター自主事業

事業名	実施予定期日	場所	参加人員
①文化会館	六月七日・十二日	福島市立三市	八〇人
(1)演劇教室(児童二校)	八月二十七日	文化センター	一〇人
(2)レニングラードバレエ公演	九月十九日	"	二〇人
(3)福島県吹奏楽トップアクト	十月	"	三〇人
(4)獅子舞	奇数月(一回)	"	三〇人
(5)演劇教室	五月より	"	二〇人
(6)文化講座会	六月(月)	"	二〇人
(7)ミュージカル公演	十一月	"	二〇人
(8)演劇教室	七月十六日	文化センター	八人
(9)音楽教室	七月十六日	"	二〇人
(10)演劇教室	七月十六日	"	二〇人
(11)立派百年記念重要文書	八月三十日	文化センター	三〇人
(12)福島県の主要絵馬展	九月二十六日	"	三〇人
(13)福島県正休展	十月十六日	"	三〇人
(14)古文書研究講習会	十一月六日	"	三〇人
(15)演劇教室	十一月十七日	須賀川市	三人
(16)演劇教室	十二月五日	"	三人
(17)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(18)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(19)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(20)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(21)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(22)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(23)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(24)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(25)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(26)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(27)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(28)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(29)演劇教室	十二月十六日	"	三人
(30)演劇教室	十二月十六日	"	三人

### 指定文化財の保護

以上が文化センター独自の事業であるが、貸館(各種の大会・展示)の方も連日利用が多い。特にこしは全国的規模の医学会が特に多く、実に八つを数えており、医学会のほかにも同レベルの大会が開かれており、昭和四十五年会館以来最高のラッシュが続いている。これは同センターの施設が充実しているため、今後文化センターの利用はますます多くなるものと思われる。

### (重要無形民俗文化財)

御宝殿の稚児田楽・風流

所在地 いわき市錦町御宝殿

保存団体 御宝殿熊野神社田楽保存会

存会

御宝殿の熊野神社の八月一日の祭に演じられるもので稚児田楽と風流が中心となり、豊凶占いのおほこたて、豊作祈願のざらっこ(稚児田楽)、豊年感謝の鷺舞、鹿舞、獅子舞などで構成される。ざらっこは、笛、太鼓の囃子方に対して、からす、うさぎの役がそれぞれ一人、ざらっこ(びんざさら役)六人の計八人の稚児が、四人ずつ向かい合ってびんざさらを摺りながら田楽躍りを展開する。また獅子舞その他のものも地方的特色が顕著であるとともに芸能史的にも価値が高い。



御宝殿熊野神社田楽

### (重要有形民俗文化財)

檜枝岐の舞台

所有者 檜枝岐村ほか

同村字居平の鎮守神社境内にあり、焼失した古い舞台に模して再建したもので、明治三十年前後の建立と推定され、ブテエ(舞台)またはメエデン(舞殿)と呼ばれる。舞台の中央部に固定式の二重があり、その四方に角柱があつて、二重の前後に唐紙を入れることができる。二重の上部は下手半分が物入れになっている。二重より奥はさらに一段高く床が張られ、この部分の床下とともに楽屋に当てられる。舞台上手には座の低い語り場(太夫座)があ